

## ご 挨拶

山口県スキー連盟

会長 中 村 克 己

秋も深まり、朝夕は冷え込むようになりました。皆様には、ますますご健勝でお過ごしのこととお喜び申し上げます。

去年は、雪不足で、いくつかの競技会がキャンセルや日程変更になりましたが、今年こそは、雪に恵まれるようにと祈っております。

私が会長になって4年経ち、ますますスキー連盟の将来のことを考える事が多くなりました。暖冬、スキー人口の減少やスキー競技者の減少等のため、山口県スキー連盟の存続が不能になってくるのではないかと懸念しており、きちんと対策を行っておかないと間に合わなくなると感じております。

これまでも、連盟の財政面の改善や、ジュニアからシニアまでのスキー愛好者の発掘・増加、およびスキー競技者の育成・発掘のために勤めて参りましたが、まだまだ努力する必要があります。

財政に関しては、支出はかなり節約できてきておりますが、収入面では厳しい状況で、ジュニアスキースクールの参加者、一般講習会参加者、シニアスキー参加者をいかに増やすかや、広告収入・寄付等、まだまだ考えなければなりません。スキー愛好者の発掘・増加、競技者の育成・発掘については、各郡市連盟での活動を基盤として、県連と共同で行っていかねばならないと思います。

そのためには、会員個々の知恵と力を集めて、連盟全体でこれに対応していかねばならないと思っています。スノースポーツのすばらしさや楽しさを、未来永劫に伝え広めようではありませんか。皆様、よろしくご協力の程お願いいたします。

今シーズンも教育部・競技部とも各行事について、綿密な計画が立っております。各行事の目的が達成できますように、関係各位のご協力をお願いいたします。

終わりに、来るシーズンが、雪に恵まれることを祈念し、また各行事に格別なご支援を賜っております各位に心から感謝の意を表し、ご挨拶と致します。